

# モリコロパークでWRCが開催されます！

## 長久手市出身WRCラリードライバー かつ た かもと 勝田貴元選手インタビュー

企画政策課 ☎56-0634

11月11日(木)～14日(日)、FIA世界ラリー選手権(WRC) [Rally Japan 2021]が、モリコロパークはじめ愛知県・岐阜県で開催予定！日本では11年ぶりの開催となります。長久手市出身のWRCラリードライバーの勝田貴元選手にラリーの見どころや長久手市での思い出をお聞きました。

©ラリージャパン事務局



2019年セントラルラリーの様子(モリコロパーク)

### WRCとは

主に公道で行われる自動車競技であるラリーの世界最高峰の大会で、世界で最もチャレンジングなモータースポーツとして知られているのが、FIA世界ラリー選手権、通称“WRC”です。

WRCはスペシャルステージ(SS)と呼ばれる、交通が遮断された一般道でタイムを競う競技です。SSとSSの間は公道を走行して移動し、その移動区間(リエゾン)では他の一般車と同様交通ルールを守って走らなければならないのも特徴です。(下図参照)



### 勝田 貴元 (かつ た かもと)

1993年3月17日生まれ、長久手市出身。  
 小学6年生でカートデビュー。フォーミュラレースを経てTOYOTA GAZOO Racing ラリーチャレンジプログラムでWRCへ参戦。  
 2018、19年にはWRC2クラスで優勝。19年にはヤリスWRCでトップカテゴリーにデビュー。

### |||| ラリーを始めたきっかけ

父と祖父がラリードライバーだったので、一度挑戦してみたいと思いF3に参戦しながら参加してみたのがきっかけです。小学生の時にカートを始め、子供の頃はサーキットレースにしか興味がありませんでした。その頃は、自分が将来ラリードライバーになるなんて全く想像していませんでしたが、やっぱり家庭環境も大きかったのかなと思います。日本では、まだまだラリーの認知度が低いですが、自分が活躍することによって、もっと多くの人にラリーの魅力をお伝えできたらと思っています。

### |||| Rally Japan2021の見どころ

世界のトップドライバー達が世界最速のラリーカーを走らせます。ラリーは、サーキットレースと違い、みなさんが普段の生活の中で使っている道を舞台に戦う競技です。みなさんに身近な公道を、ラリーカーがすごいスピードで駆け抜けていく「非日常」を楽しんでいただきながら、迫力はもちろん、ドライバーそれぞれの違うテクニックにも注目してほしいです。来季以降、クルマがハイブリッド化する予定なので、今のWRカーは歴史的にも最速のクルマとなる可能性があります。ぜひ生で見たいです。



### |||| 長久手市の思い出

生まれも育ちも長久手市なので、長久手市内のどこへ行っても何かしらの思い出がある特別な場所です。特にアピタからモリコロパークに続くグリーンロードは、友達と香嵐渓に行く途中にドライブした思い出がありますし、小学生のときの杵ヶ池公園でのマラソン大会は今でも鮮明に覚えています。また、愛・地球博があった当時、僕は中学校一年生で、まさかモリコロパークを自分がラリーカーで走るなんて想像すらしていませんでした。色々な思い出を振り返れば振り返るほど本当に感慨深いものがあります。



小学校の運動会で活躍する貴元さん

### |||| 長久手市民へメッセージ

世界中のトップラリードライバーが集まり、世界最速のクルマ達が長久手市の道を走ります。地元でこのような体験ができることはとても貴重なことだと思うので、ぜひラリーカーの迫力を生で見たいです。スペシャルステージ(競技区間)以外での公道の移動は道路交通法に従ってゆっくり走ります。近くで移動中のラリーカーを見かけたら、手を振ったりして応援して頂けたら嬉しいです！

また、僕を育ててくれた大好きな長久手が市になって10周年を迎えようとしています。そんな大事な年に、世界選手権の舞台にドライバーとして立てることを誇りに思いますし、長久手に感謝の想いを込めて全力で走ります！これからも応援よろしくお願い致します！

勝田さんからの市民のみなさんへのメッセージを動画でも見ることができます。——→



観戦方法等は現在協議中です。(最新情報はRally Japanホームページへ。)